

第15回上智大学全国高校生英語弁論大会(ジョン・ニッセル杯)

募集要項

はじめに

上智大学では、建学以来、数多くの外国人教師の指導のもと、外国語教育を重視し、国際舞台で活躍するにたる語学力を身に付けた多くの人材を世に送り出してきました。そうした経験の中で、語学教育の大切さとその結果得られる語学力が与えてくれるものの大きさと尊さを我々は常に学び、実感してきました。特に、コロナ禍を経て、「言葉の持つ力」をあらためて感じた方も多いのではないでしょうか。

ジョン・ニッセル杯はそのような思いのもと、高校生が英語を用いて自分の言葉で意見を発表する機会を設けることを目的に、2011年度より継続して実施しています。今迄の大会には全国から多数の応募があり、競争率が10倍を超える予選を通過した約20名によって行われる本選は、高校生による英語弁論大会としては極めて高水準の内容となっています。

また、上位入賞者が上智大学に入学した場合に授業料を減免する「ジョン・ニッセル杯奨学金」を設立し、第10回大会入賞者より修業年限(4年間)の支給へと拡充しました。

大会の詳細および応募方法は下記のとおりです。多くの皆さんの応募をお待ちしております。

I. 大会名称: 第15回上智大学全国高校生英語弁論大会(ジョン・ニッセル杯)

II. 趣旨: 高校生が自分の考えを公の場で英語を使って発表する機会を与えることを通して英語能力向上の一助となることを目指す。上智大学で長年にわたって教鞭をとった故ジョン・ニッセル師にちなんで「ジョン・ニッセル杯」と名付ける。

III. 主催: 上智大学言語教育研究センター、外国語学部英語学科

IV. 本選開催期日: 2025年11月22日(土) 12:45から

本選までの予定

①1次審査応募(フォーム入力)期間: 2025年8月1日(金)–21日(木)(予定)

②1次審査結果発表: 2025年10月初旬(予定)

※可否に関わらず、応募者全員の自宅宛に郵送で通知。在籍する高校への通知は行わない。

V. 本選開催場所: 上智大学四谷キャンパス6号館101室

VI. ジョン・ニッセル杯奨学金:

本大会の上位6位までの入賞者が将来上智大学に入学した場合、本人の申請に基づき、修業年限(4年間※)の授業料を順位に応じて減額する。1位は授業料相当額、2~3位は授業料半額相当額、4~6位は授業料3分の1相当額が減額される。手続き方法については、別途該当者に書面にて案内する。※ただし、学年ごとに継続審査があります。

VII. 後援: 文部科学省、公益財団法人日本英語検定協会、ETS Japan TOEFL 日本事務局、株式会社アルク、株式会社小学館、一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会、株式会社ソフィアキャンパスサポート

VIII. 実施内容および方法:

1. **内容:** 全国の高校生を対象とした英語による弁論大会。
2. **対象:** 原則として日本国内の高等学校(一条校)、インターナショナルスクールおよび文部科学省の在外教育施設の認定を受けた海外の日本人学校に通う高校生で、本選に出場できる者。海外体験の有無は問わない。
3. **弁論の長さ:** 4分以上5分以内
4. **弁論のテーマ: The Future of Japanese Tradition**
本人が執筆したもので、社会に目を向けつつ、できるだけ実体験に基づいた独自の内容が望ましい。
※なお、内容がテーマに沿っているかは、応募者各自が判断すること。
5. **審査基準:** 英語の文法、プレゼンテーション技術の他、主題の選択、文章構成、スピーチとしての説得力、内容の独自性など、内容面を重視して審査する。
6. **1次審査:** 原稿と録音による。審査員は本学言語教育研究センター及び英語学科教員。
7. **本選:** スピーチの後に審査員が簡単な質疑応答を行う。
8. **本選出場者予定数:** 20名程度
9. **レセプション:** 学内において、当日大会終了後に行う。

IX. 表彰:

- ① 本選参加者全員に本選参加証を発行する。
- ② 後援団体、企業からの賞品を贈呈する(詳細未定)。
- ③ 1-6位の入賞者の他に、英検賞を贈呈する。
- ④ 入賞者には以下のものを贈呈する。

優勝者	カップ(持ち回り、次年度レプリカカップの贈呈あり) 表彰状
2位・3位	表彰楯 表彰状
4・5・6位	表彰状

X. 応募方法:

- (1) 応募フォームへの情報入力(参加登録)
応募期間(2025年8月1日(金)から8月21日(木)を予定)の間に、オンライン上の所定のフォームに、以下の項目をもれなく入力する。
フォームの詳細は応募期間直前に公開する。7月下旬にジョン・ニッセル杯のウェブサイトにて確認すること。

入力項目

項目番号	内容
1	氏名(姓・名・ミドルネーム(有の場合のみ)の漢字・ふりがな・アルファベット表記)
2	性別
3	生年月日 (半角数字)
4	在籍高校名(日本語名称・ふりがな・英語正式名称)
5	学年
6	高校住所(郵便番号を含む)
7	高校電話番号
8	応募者自宅住所
9	応募者電話番号
10	応募者メールアドレス
11	原稿タイトル(英文)
12	原稿分量 words(語数)
13	録音時間(分/秒)
14	海外就学経験有無及び期間・国名等詳細

 入力した情報(特に、住所・電話番号・e-mail アドレス)に誤りがあると、事務局からの連絡ができないため、送信前に誤りが無いことを十分に確認すること。

(2) 弁論原稿と音声データの提出

フォームの入力を完了後、以下の提出物を、オンライン上のフォルダに保存することにより提出する。フォルダの詳細と提出方法は、(1)のフォームへの入力完了後に、応募時に登録した e-mail アドレス宛に、応募者に個別に通知する。提出期限は通知の翌日とするため、すべての提出物を完成して直ちに提出できる状態にしてから応募フォームへ入力すること。

提出物

(1) 弁論原稿データ(マイクロソフト Word ファイル)

- ①分量: 4分以上5分以内で話すことができる長さ。
(タイトルは時間に入れない。)
- ②内容: 今年度のテーマ **The Future of Japanese Tradition** に沿ったもので、社会に目を向けつつ、できるだけ実体験に基づいた独自の内容が望ましい。
- ③体裁: a.A4用紙(縦置き)に横書きで、マイクロソフト Word ファイルで作成する。
フォントサイズは12とし、1頁の行数は40行(タイトル行を含まず)とすること。
Pdf化せず、ワードファイルのまま提出すること。

- b.必ずタイトルを付けること(タイトルは弁論テーマと同一にしないこと)。
- c.原稿の最初に上記のタイトルを明記する。(氏名、学校名、学年は記載しないこと。)
- d.ファイル名は原稿のタイトルとする。ファイル名に氏名、学校名などは入れないこと。

例: **Will Japanese tradition survive in the 22nd century.docx**

(2) 録音データ

① 参加者本人が吹き込んだもの。

② 音声ファイルを、**MP3、M4a、Wav 形のいずれか**で作成する。

ファイル名は(2)の Word ファイルのタイトルと同一とすること。ファイル名に氏名、学校名などは入れないこと。

*録音の際、氏名→タイトル→本文の順で読み上げること。学校名は含めない。

*過去の大会では、録音不良・保存形式の誤りにより失格になった応募者が複数いたので、録音後、良好な状態で再生できるかどうか、パソコン上で必ず確認すること。

*録音等に関する技術的な質問は受け付けません。

! 提出後は弁論タイトルや内容の変更は受け付けませんので、十分な推敲・確認の後提出すること。
応募書類に不備や不足があった場合や提出期限に遅れた場合は失格となります。

4. 問い合わせ先

下記まで電子メールでお問い合わせ下さい(メールによる応募書類の受付はできません)。

上智大学全国高校生英語弁論大会係 <nissel-cup@sophia.ac.jp>

ジョン・ニッセル杯 HP <http://www.sophia-cler.jp/hs-students/nissel-cup.html>

*ジョン・ニッセル杯に関する「よくある質問」は、HP内に掲載しています。

*ジョン・ニッセル杯の紹介映像や過去の大会の様子は、上記「ジョン・ニッセル杯HP」よりご覧いただけます。

以上